

園だより

令和6年2月号 北条こども園

☆2月の目標☆
 ・冬の自然に触れて遊び、興味や関心を広げる。
 ・いろいろな素材を使い、自分なりについたりかいたりして表現することを楽しむ。

♪家庭教育12か条♪
 2月は
子どもの遊びは自然の中で

今年は暖冬といわれ、雪が降らないと思っていたところ、先週にはたくさん降り積もりました。子どもたちは防寒着を身に着け、園庭を走ったり、保育教諭と一緒に雪だるまを作ったりして雪遊びを楽しみました。小さなクラスは、タライに入った雪を指先で触ってみたり、「冷たい」と感覚で感じたりする姿もありました。これからも、園庭で思いきり鬼ごっこをしたり、草花の芽吹きを感じたりし、暖かい冬ならではの遊びも楽しんでいきたいと思えます。

○研究主題「聞く・話す・伝え合うことを喜び子をめざして」

～自分の言葉や動作で伝える楽しさを感じるための環境と援助の工夫～

新しい年を迎えました。一つの節目として、また少し大きくなったような新鮮な気持ちですね。次は進級、入学を控えている子ども達。一つ一つの節目を大切に、一步ずつの成長を噛みしめていきたいです。この研究主題での研究も終盤を迎えています。研究を進めていく中で、こんな遊びや、こんな関わりがあることで、聞きたくなったり、話したくなったり、やりとりを喜んだりする姿につながっているな、と感じる場面を多く見ることができました。子ども達の学びから、関わる大人側もコミュニケーションの大切さを学ばせてもらいました！

【4 歳児編 伝え合いを喜び姿とは？】

- かるたあそび -
 文字への関心も始め、一緒に楽しみます。



少人数で集まり友達同士同じ目的で遊ぶ



友達の遊びに興味をもち、寄り添う



- こままわし -
 すごいな
 どうやったの？
 おしえて～



遊びの振り返りや発表タイム
 「こんなことが楽しかった」自分の感じた思いをみんなに伝えるようになります



もっと掘ろう！
 花びらはこれかい？



簡単なルールを守って遊ぶ

- ドッジボールや鬼ごっこ -
 ルールを知ったり守ったり伝えあったりしながら楽しく遊ぶ方法も学んでいきます。



えがお
 (o~o)

伝え合いを喜びするためには相手の存在を意識することから。興味や関心を抱き、「何かな」「どうしてかな」と思いを巡らせたり、「すごいな」と感じたりして、人と関わっていきます。その一つの方法として言葉や仕草を使い、伝え合うようになります。やりとりし、笑顔の生まれる瞬間を大切にしたいです。

2月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1 絵本 卒園記念写真撮影(5)	2 家読	3
4	5	6	7 おにぎり 避難訓練 つくしんぼお話し会(1)	8 絵本	9	10
11	12	13	14 おにぎり 作品展(~16日) 身体測定(3)	15 絵本 身体測定(2)	16 家読 身体測定(0.1)	17
18	19	20	21 おにぎり 歯磨き指導(5) 誕生会(0~2)	22 絵本	23 天皇誕生日	24
25	26	27	28 おにぎり 歯磨き指導(4) オープンデー	29 絵本返却 誕生会(3~5) ピカピカデー		

*毎日持帰り 歯ブラシ・コップ(3~5 歳児)

*毎週水曜日 おにぎり弁当(3~5 歳児)

*毎週木曜日 絵本貸出し日

*隔週金曜日 布団持ちかえり(隔週持ちかえり)

*月末最終日 カラー帽子、外靴、上靴持ち帰り

*第 1,3 金曜日:家読デー(3~5 歳児)

【3月の主な予定】

7日(木)参観日・PTA 総会(予定)

15日(金)お別れ会 22日(金)卒園式(5歳児)
 修了式(4 歳児以下)

※3/25(月)~4/3(水)は、預かり保育となります。



【お知らせとお願い】

○卒園記念写真撮影について(5歳児)

日時:2月1日(木)9:30~(8:45 までに登園して下さい)

服装:上(自由) 下(赤パンツ) くつ下(自由)、上靴

○作品展について

・14~16日に、お子さんと一緒に作品を鑑賞いただきたいと予定しています。詳細につきましては、別紙案内をご覧ください。

○歯磨き指導について(3~5歳児)

・各学年の歯磨き指導の日は保護者の方もご参加ができますので、ぜひお越しください。歯磨きの仕方や虫歯になりにくいお口の体操等、一緒に学びましょう。

○絵本の返却について

貸し出し絵本の返却は 2/29(木)となります。※家読の絵本をお持ちの方も必ず返却をお願いします。

おすすめ絵本コーナー(2月)

『てぶくろ』

<エウゲーニー・M・ラチョフ>

森に来たおじいさんが手袋を落としたところからお話が始まります。寒空の中、あったかい手袋の中に動物が次々とやって来て・・・。「次は誰が来るかなあ」とワクワクしたり、子どもたちの大好きな「入れて」「いいよ」とやりとりできる繰り返しの言葉が出てきます。さて、最後はどうなるのでしょうか？

このお話は、ウクライナ民話から作られた絵本です。ウクライナの子どもたちも平和の中でこの絵本が読めるようになることを願っています。

<保育教諭 山下郁子>

